

豆 狸 の 寝 言

副会長 三原幸二

自動車通勤しているので、たまにしか電車に乗らないが、たまにしか乗らない私でもうんざりすることがある。それは車内放送、特に地下鉄の車内放送である。

いわく、「痴漢は犯罪です。見かけた方、また被害に遭われた方は、近くの車掌もしくは駅員までお知らせ下さい」

なるほど痴漢は犯罪にちがいない。被害者である女性の気持ちを考えれば、憎むべき犯罪であるともいえる。しかし、身動きできない満員電車の中で、毎朝これを耳にするのは、たまったものではない。せっかく気持ちよく家を出ても、気持ちよさがかき消されてしまう。

考えてみると、乗客は、地下鉄（大阪市交通局）のお客ではないか。その客に向かって「痴漢は犯罪です」という神経はいかがなものか。

中には痴漢もいるだろう。が、ほとんどは善良な市民である。放送を聞かされる善良な市民は持って行き場のない、うんざりした気持ちで満員電車に耐えている。その心情を少しは察してほしいと思うのだ。

犯罪といえ、万引きも犯罪である。これを持って



余しているデパート、スーパーもあるはずだ。しかし館内で「万引きは犯罪です。見かけた人は近くの店員にお知らせ下さい」というアナウンスを聞いたことがない。

誤解を恐れずに言うのだが、ためしに一度、市の交通局の職場内放送で「皆さん、痴漢は犯罪です」と毎日やってみてはどうだろう。

そうすれば、電車内でやっている放送の行き過ぎ・視野の狭さが多少は分かってもらえるかもしれない。

そんなことを思いながら、出張に出かけるために、今日もまた地下鉄の駅へ向った。

(車内放送) 2002年執筆